

# 令和5年度運動目標

我が国有数の豪雪地帯である上越・魚沼地域は、少子高齢化・過疎化が進行するなど諸課題を抱えているが、活力ある地域社会の創造と若者の定住を促す地域づくりを目指し、地域活性化策に積極的に取り組んでいる。

上越魚沼地域振興快速道路は、関越自動車道、北陸自動車道及び上信越自動車道のネットワーク効果をさらに向上させ、地域間や首都圏との物資の流通及び人の交流をより活発化させるとともに、通勤圏域の拡大や都市と農山村地域との連携強化による地域集積圏の拡大など、上越・魚沼地域の今後の発展と安定に欠くことのできない道路である。

平成19年7月に発生した中越沖地震では、北陸と長岡市方面とを結ぶ北陸自動車道や国道8号が通行不能となり、国道253号が代替道路の役割を果たしたものの、交通が集中したことにより渋滞の発生を引き起こした。

さらに、令和4年12月の大雪では、北陸自動車道と国道8号において同時通行止めが発生し、物流に大きな影響を与えました。このことから本道路が避難経路として重要であることを改めて認識したところであり、近年頻発している地震や豪雨・豪雪など災害が多発している状況を踏まえ、平常時だけでなく、災害時においても安定した交通や物流の確保が必要不可欠である。

これらの事例から、災害時の代替機能をより発揮するため、及び、経済や観光などの連携・交流の強化や深刻化する地域医療に対する不安を解消するためにも、地域高規格道路である本道路の着実な整備推進が求められているところである。

このようなことから、道路財源の確保は厳しい状況にあるが、本路線の全線早期供用開始に向け、次の事項に積極的に取り組んでいくものとする。

## **1. 上越魚沼地域振興快速道路の早期完成に向けた要望活動**

(1) 整備区間の整備促進を図ること

- ①「上越三和道路 鶴町IC～(仮)三和IC間」
- ②「三和安塚道路(仮)三和IC～浦川原IC間」
- ③「十日町道路」
- ④「八箇峠道路 野田IC～(仮)余川IC間」

(2) 未着工区間の調査推進及び早期着工を図ること

- ①「上越市安塚IC～十日町市松代間」
- ②「十日町市松代～十日町市北鏡坂間」

(3) 高規格道路を始めとする道路網の整備推進、予防保全への転換を含めた国土強靱化の事業計画に基づく橋梁等の老朽化対策の推進を図ること

(4) 平常時・災害時を問わず、安定的かつ安全・円滑に利用可能な道路ネットワークの確保に向けた重要物流道路の重点整備を図ること

(5) 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に進めるとともに、対策期間完了後も、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況も踏まえた上で、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと

## **2. 地域高規格道路の整備に関する課題等の調査研究**